

——— 高校生の好きな服装のイメージについて ———

文化女大家政 ○万江八重子 奈良女大家政 中川早苗 岐阜女大家政
大喜多佐代子 県立会津短大 松浦悠紀子

目的 最近ではファッションに関する情報が質、量共に豊かになり、若者の間では、個性的な服装の表現をこれらの情報から取り入れて上手に演出している者が多い。その与えるイメージの効果は、服装にとって意味深いものである。本報では、高校生が好む服装のイメージについて調査し、これからの心豊かな生活を営むための服装のあり方を検討した。

方法 調査の概要は第1報と同じである。本報では、高校生が好む服装のイメージを明らかにするために、SD法を用いて調査を行った。尺度には服装のイメージを表現する形容詞15対を用い、5段階によって評定してもらった。得られたデータを得点化し、男女別に平均得点をプロットしてイメージプロフィールを求めた。次に尺度間相関行列をもとに因子分析を行い、抽出された主要な因子をもとに高校生が好む服装のイメージの構造を男女別に明らかにした。

結果 高校生が好む服装のイメージプロフィールから男女共に、シンプルでカジュアルでゆったりした自由な落ちついたイメージの服装を好み、また男性の方がよりスポーティでモダンで落ちついた男性的な服装を好むのに対して、女性は個性的で女性的でひかえめなイメージの服装を好むことが明らかになった。因子分析結果からは、男女共に第1因子「開放性」第2因子「装飾性」第3因子「年令」第4因子「性別」第5因子「洗練性」の5つの主要な因子が抽出された。つまり高校生の服装の好みは、肉体的にも精神的にもゆったりしているか窮屈か、シンプルか装飾的か、年令にふさわしいか、男らしいか女らしいか、洗練されているかやぼったいか大きく左右されるといえよう。